

一言メモ

小山市役所ホームページ等から引用

「小山評定」

NHK 大河ドラマ「どうする家康」の主人公、徳川家康ゆかりの地は小山にも何か所かあり、その代表的なものが「小山評定」で、そのロケが小山でも行われたそうです(都合上、放映日は非公表)。小山評定は、徳川家3百年の安泰の道筋を付けた重要な軍議で、一説によれば1600年に、ここ小山の地で開かれたと言われています。徳川家康は7月24日、上杉景勝を討伐するために会津に向かっていた途上、下野国小山に本陣を置きました。その時、石田三成挙兵の報が入り、翌25日、急遽家康は本陣に諸将を招集して軍議を開き、「このまま上杉を打つべきか、反転西上して石田を討つべきか」を質したのです。これが世に言う「小山評定」です。東軍が結束し、勝利を決定付けた歴史上最も重要な軍議の一つと評されています。



小山評定跡



小山御殿広場



小山御殿復元図



小山宿・脇本陣跡



持宝寺

奈良時代に創建。徳川吉宗の日光社参時における休息所。



龍昌寺

徳川家光の遺骸を日光に葬送する際、棺を仮安置した。



逢の榎

間々田宿が江戸・日光間の中間にあるため「間の榎」と呼ばれ、やがて「逢の榎」として縁結びにもご利益があると信仰された。



車屋美術館

乙女河岸で肥料問屋を営んだ小川家の住宅(国登録文化財)。



乙女河岸跡

江戸時代に物資の集散地として賑わった。小山評定後、徳川家康はここから乗船し、江戸に戻り関ヶ原に向かった。